I-O DATA

ハードウェアMPEG-2キャプチャボード

GV-MPEG2/PCI

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

73684-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Dazzleは、Dazzle,Incの商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-MPEG2/PCI 取扱説明書
2000.Sep.8 73684-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

はじめに

このたびは、ハードウェアMPEG-2キャプチャボード『GV-MPEG2/PCI』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition の総称
Windows	Windows 98

ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

A：フロッピーディスク装置3.5インチ（1.44MB/720KB）
C：ハードディスク装置（ご使用になるOSがインストール済みで起動可能）
D：CD-ROMドライブ

特徴

● ビデオカメラ、TVなどの映像を簡単にMPEGファイルに

ビデオカメラ、CCDカメラ、TV、ビデオデッキなどの映像機器を接続して、高品質の映像を簡単な操作でMPEG-1/2形式のファイルにすることができます。もちろん、音声もCD並の品質で同時保存。さらに、それらのMPEGファイルを編集したり、インターネットを通じて送信することができます。

MPEGファイルとは？
Moving Pictures Expert Groupの略で、動画の圧縮伸長技術です。
少ない容量で動画を記録できるのが特徴。Windows搭載のパソコンでは特別なハードウェアがなくても再生できます。また、ビデオCDとして記録すればビデオCDプレーヤーや、DVDプレーヤーでも再生できます。インターネットでの利用にも最適な形式です。
※再生プレーヤーがCD-Rメディアに対応している必要があります。
※MPEG-2の再生には、再生ソフトが必要です。

● あらゆるマルチメディアシーンで

接続したビデオ機器からの映像を、静止画や音声ファイルとして取り込むことができます。静止画では、bmp形式、jpg形式を始めとする多彩なファイル形式をサポートし、最大1600×1200の超高解像度でのキャプチャが可能です。
また、Video for Windows対応のビデオ会議ソフトの入力デバイスとしても利用できます。

※ビデオ会議ソフトでのご使用方法等については、ビデオ会議ソフトのメーカーへお問い合わせください。

● NTSC形式の映像機器に対応

アメリカ、カナダ、日本で使われているNTSC形式の映像機器を接続できます。

● 映像出力端子（Sビデオ対応）を装備

映像出力端子をTVモニターに接続すれば、作成した動画ファイルを大画面で再生することができます。また、VTRに接続すれば、作成した動画ファイルをビデオテープで録画でき、楽しみ方が広がります。

● 高度なGUIをもつ専用ソフト「MPEG Creator」添付

映像の取り込みから編集まで、すべてはこのソフトウェアで行います。直感的なGUIの簡単操作で、今日からビデオディレクターになりましょう。

● DVDオーサリングソフト「DVDit!LE」

お気に入りの動画ファイルを用いて、DVDビデオフォーマットのファイルが作成できます。

GV-MPEG2/PCIで作成したMPEG-2ファイルに、メニュー画面を加えたり、様々な機能を使ってお気に入りのDVDタイトルを作成することができます。

※「DVDit!LE」に関するお問い合わせについては下記へお願いします。

住所：〒105-0022 東京都港区海岸2-6-30 浜松町エメラルドビル5F
ソニック・ソルーションズ東京事務所 DVDit!サポートセンター

TEL ：03-5232-5065

お問い合わせ受付時間：月～金曜日（祝祭日を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00

● ソフトウェアDVDプレーヤー「DVDExpress」

市販されているDVDタイトルをパソコン上で再生できることはもちろん、さらにGV-MPEG2/PCIで作成したMPEG-2ファイルの再生も可能です。（DVDドライブが必要です。）

※「DVDExpress」はサービス添付品の為、サポート対象外となります。

ㄚ ㄋ ㄛ

はじめに i
もくじ iv

第1章

ǵ
ǵ
ǵ
ǵ

第2章

ǵ
ǵ
ǵ
ǵ

第3章

ǵ
ǵ
ǵ
ǵ
ǵ
ǵ
ǵ
ǵ

第4章

サポートセンターへのお問い合わせ..... 111
保証について 112
サポートソフトのバージョンアップ..... 113
修理について 114

ふろく

第1章

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、説明しています。

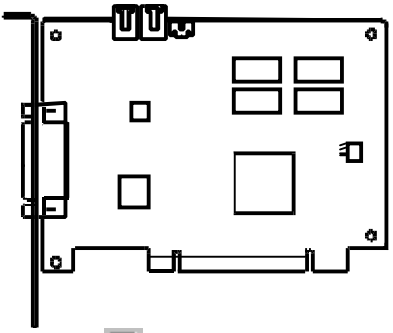
2ページ
箱の中身をご確認ください。

4ページ
ユーザー登録を行います。

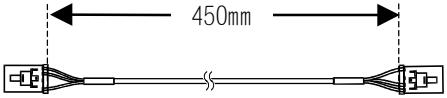
5ページ
各コネクタ、端子等の名称をご確認ください。

6ページ
本製品の動作環境をご確認ください。

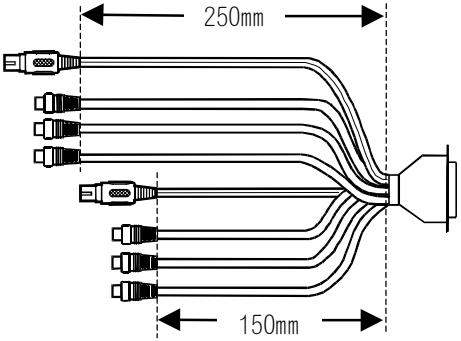
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。



□ GV-MPEG2/PCI



□ オーディオケーブル



□ GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブル



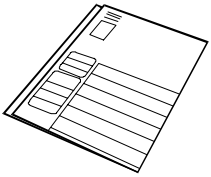
☑ 取扱説明書



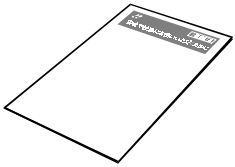
☐ GV-MPEG2/PCIサポートソフト



☐ ハードウェア保証書



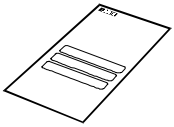
☐ ユーザー登録カード



☐ 『安全で快適にお使いいただくために』



☐ ハードウェアシリアルNo.シール



☐ Verシール



☐ DVDit!LE

☐ DVDit!インストールのガイド

☐ DVDit!登録ハガキ

万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、本書の巻末の「Verシール」とかかれている欄に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3

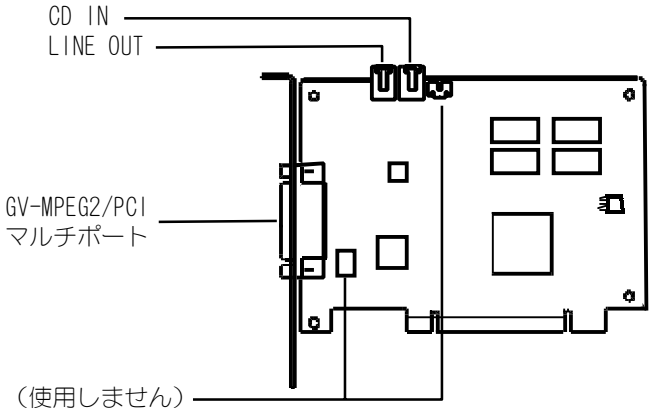
- （ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）
  インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
  I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
  オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

- ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

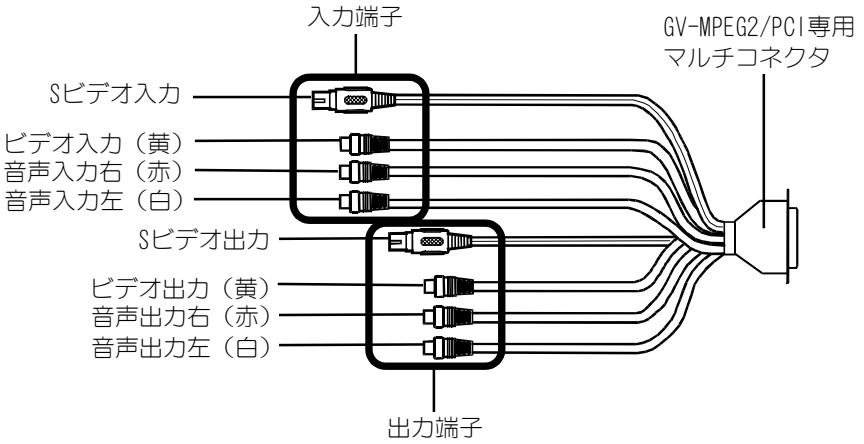
・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。

・ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

GV-MPEG2/PCI



GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブル



本製品のご使用にあたっては、最低限下記の条件を満たす必要があります。

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン （弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。）
CPU	Intel PentiumⅡ 400MHz以上 Intel Celeron 400MHz以上
メモリ	64Mバイト以上
OS	日本語 Windows 98（Second Edition含む）
ハードディスク	300Mバイト以上の空き容量 （別途作成ファイル用空き容量が必要。）
グラフィック	解像度800×600×16bitハイカラー以上で DirectX6.0以上 弊社製DirectDraw対応PCIバスまたはAGPスロット接続グラフィックアクセラレータボード（GA-TNT232/SV4シリーズ、GE-GF2A）を推奨。
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのインストール時に必要
サウンド	音声の再生用として必要
その他	ビデオカメラやテレビ、CCDカメラ、ビデオデッキなどの映像機器（録画、録音、外部出力時に使用。）

※弊社製MPG-BOX/P及びUSB-MPGとの併用はできません。
※パソコンの性能によっては動画再生時にコマ落ちが生じる場合があります。

DVDit!LEの動作環境

DVDit!LEを動作させるには、さらに下記の条件を満たす必要があります。
インストール方法については、添付の「DVDit!インストールのガイド」をご覧ください。

メモリ	128Mバイト以上
グラフィック	解像度1024×768×16bitカラー
ハードディスク	80Mバイト以上の空き容量（ビデオ、及びオーディオファイル用に9Gバイト以上のディスク容量）

DVDExpressの動作環境

DVDExpressを動作させるには、さらに下記の条件を満たす必要があります。

サウンド	サンプリングレート48KHzに対応したもの。
グラフィック	DirectX Foundation6.0以降 Direct Show6.0
DVD-ROMドライブ	DMAに対応した2倍速以上のもの（PIXX4.0、USBにも対応。但し、Microsoft Windows 95 OSR2.1以降のみで利用可能）

MEMO

第2章

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、順を追って説明しています。

10ページ

本製品を取り付ける前に、付属のCD-ROMをインストールします。

19ページ

本製品をパソコンに取り付けます。

23ページ

取り付け後、正しく動作しているかどうか確認します。

26ページ

インストールした情報を削除します。

付属のGV-MPEG2/PCIサポートソフトをインストールします。この作業では、MPEG Creatorと、ドライバ、DVDExpressがインストールされます。

※製品の取り付けはまだ行わないでください。取り付けはインストール作業の後に行います。

※インストール中にWindows 98のCD-ROMが必要な場合があります。予めご用意ください。

1 **Windowsを起動し、「GV-MPEG2/PCIサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。**

2 **［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

3 **CD-ROMドライブアイコンをダブルクリックします。**

4 **［Setup.exe］アイコンをダブルクリックします。**

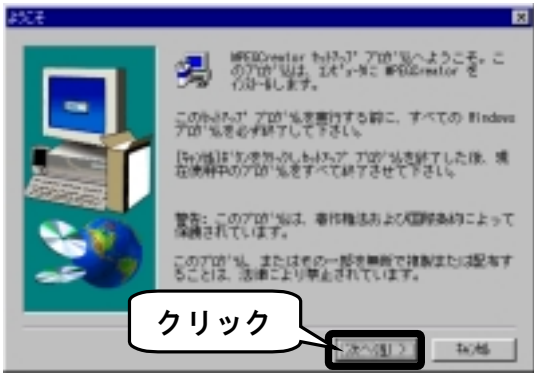


5 ［次へ］ボタンをクリックします。

[MPEG Creator]、[DVDExpress]のチェックは外さないでください。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 ［次へ］ボタンをクリックします。

インストール先を変更したい場合は、［参照］ボタンをクリックして変更します。



≪[参照]ボタンでインストール先を変更≫

1 **[参照]ボタンをクリックします。**

2 **[フォルダ]でインストール先を選択します。**
もしくは、[パス]にインストール先を入力します。



3 **[OK]ボタンをクリックします。**

8 **［次へ］ボタンをクリックします。**



9 **［次へ］ボタンをクリックします。**



10 ［次へ］ボタンをクリックします。



11 ［次へ］ボタンをクリックします。



※ここからはDVDExpressのインストールです。

12 ［はい］ボタンをクリックします。

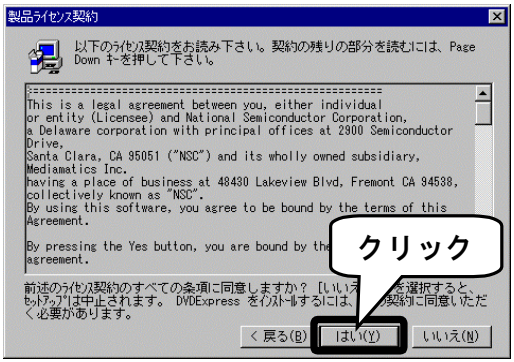
この画面が表示されない場合は、「ALT」+「TAB」キーを押してください。



13 ［次へ］ボタンをクリックします。

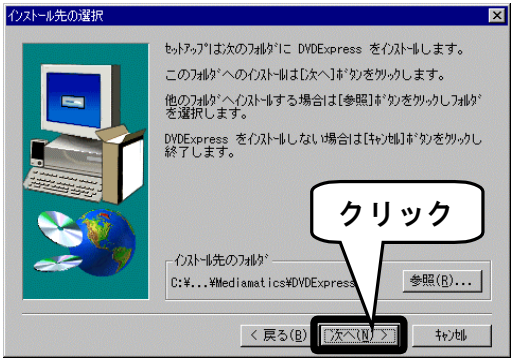


14 内容をご確認の上、［はい］ボタンをクリックします。



15 ［次へ］ボタンをクリックします。

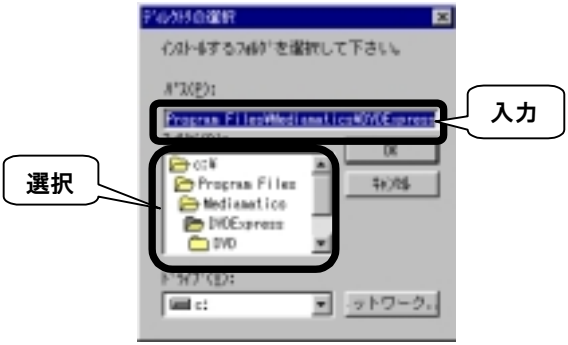
インストール先を変更したい場合は、［参照］ボタンをクリックして変更します。



≪[参照]ボタンでインストール先を変更≫

1 **[参照]ボタンをクリックします。**

2 **[フォルダ]でインストール先を選択します。**
もしくは、[パス]にインストール先を入力します。



3 **[OK]ボタンをクリックします。**

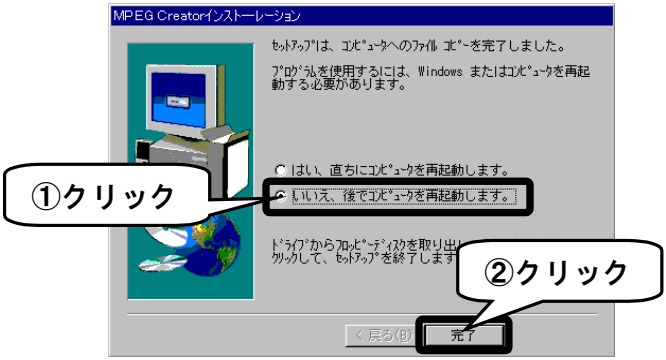
16 ［次へ］ボタンをクリックします。



17 ［完了］ボタンをクリックします。



18 ［いいえ、後で・・・］をチェックし、［完了］ボタンをクリックします。



19 ［スタート］→［Windowsの終了］→［電源を切れる状態にする］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

以上でインストールは終了です。

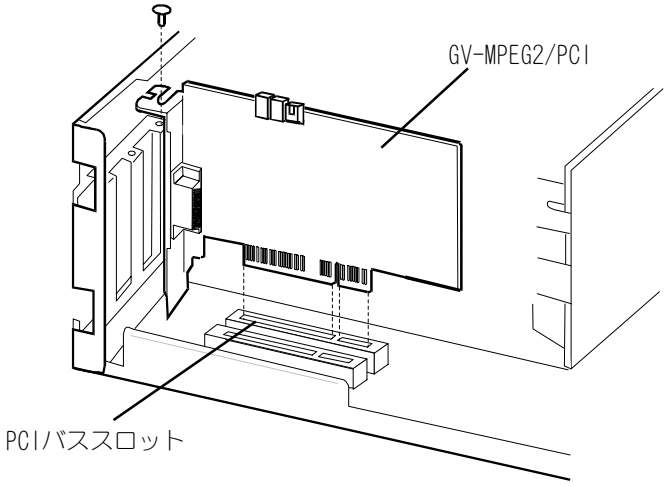
次ページの説明をお読みになり、本製品をパソコンに取り付けてください。

1 パソコンの周辺機器及び本体の電源が切れていることを確認します。

2 パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜き、パソコンのカバーを取り外します。

3 PCIスロットカバーを止めているネジを外し、PCIスロットカバーを取り外します。

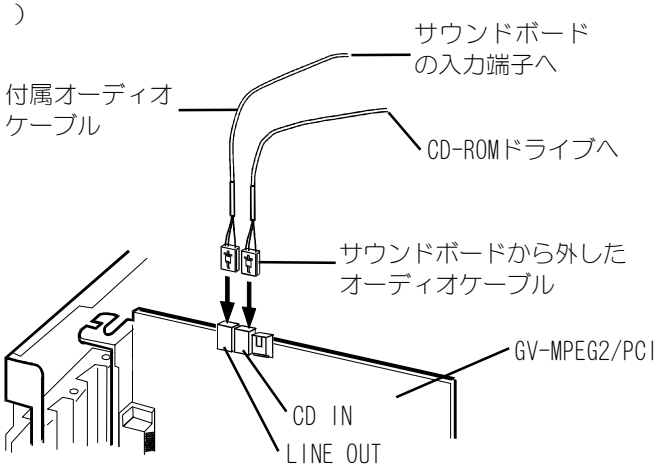
4 PCIバススロットに本製品を取り付け、PCIスロットカバーを取り外したネジで固定します。



5 CD-ROMとサウンドボードが接続されている場合、サウンドボードからオーディオケーブルを外し、本製品のCD INに接続し直します。

6 本製品のLINE OUTに付属オーディオケーブルを接続し、もう一方をサウンドボードのオーディオ入力端子に接続します。

付属のオーディオケーブルは、両端とも同じコネクタです。どちら側を本製品に接続しても結構です。
サウンドボードのオーディオ入力端子位置については、サウンドボードの取扱説明書等をご覧ください。
※サウンドボードや、CD-ROMドライブに接続しない場合は、手順9でGV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルの音声出力（短いケーブル）をスピーカに接続してください。（この場合、パソコン画面上でのファイル再生時の音声は出力されません。）



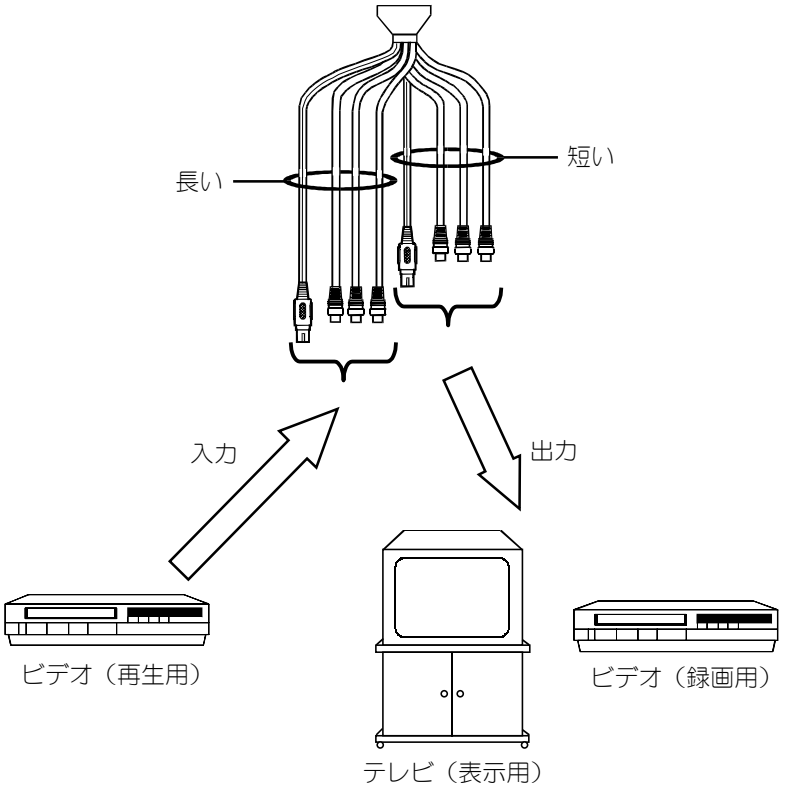
・オーディオケーブルを接続する場合、コネクタ側とケーブル側の凸凹部が合うように、向きを良く確かめてから接続してください。
サウンドボードによっては、付属オーディオケーブルが接続できない場合があります。このような場合は、別途オーディオケーブルをお求めください。
・オーディオケーブルの接続は、パソコン画面上でのプレビュー時に、音声を聞くために必要です。専用マルチケーブルの音声出力は、外部出力時に音声を聞くためのものです。

7 パソコンのカバーを閉めます。

8 GV-MPEG2/PCIマルチポートにGV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルを接続します。

9 GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルを各映像機器と接続します。

GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルは、長いケーブルが入力で、短いケーブルが出力です。5ページ【3. 各部の名称】をご参考に、接続してください。
接続箇所等の詳細については、各映像機器の取扱説明書をご覧ください。



10 Windowsを起動します。

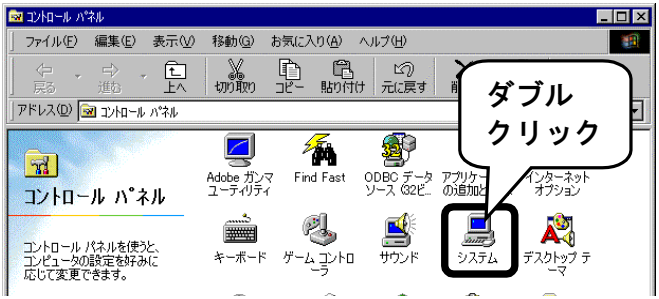
10ページ【1. インストール】でインストールしたドライバが自動的に読み込まれます。

ドライバやアプリケーションソフトが正しく組み込まれたかどうかを確認してください。

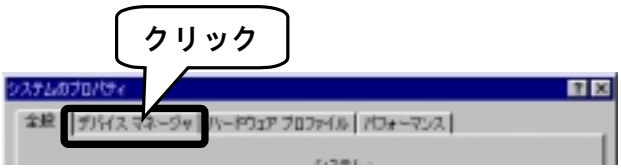
ドライバの確認

下記の方法で確認し、[デバイスマネージャ]内に[GV-MPEG2]の表示があれば正常です。

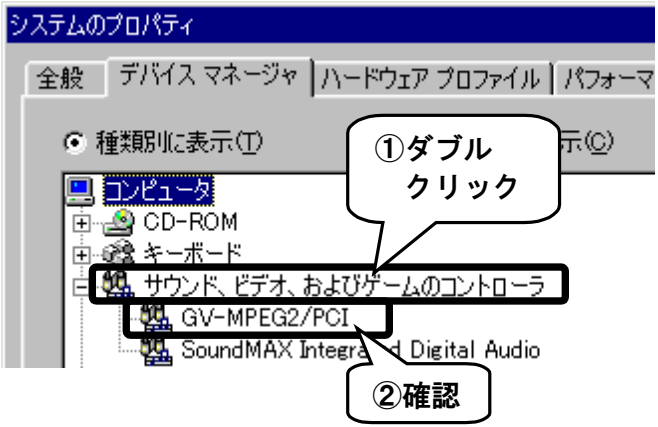
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[システム]アイコンをダブルクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。



3 **[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、下に[GV-MPEG2/PCI]が表示されることを確認します。**



図のように表示されていれば正常です。

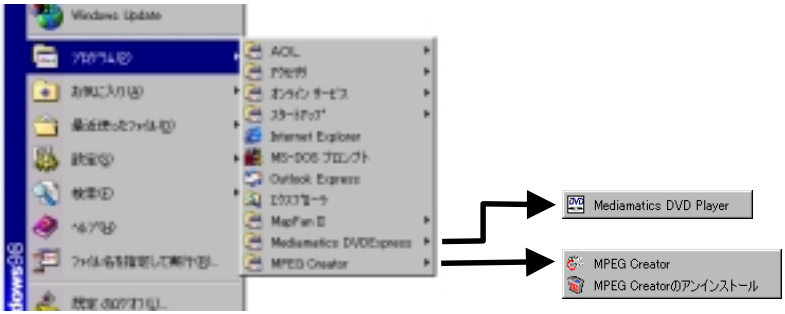
[GV-MPEG2/PCI]の表示がない。 102ページ

[GV-MPEG2/PCI]に!マークがついている 103ページ

アプリケーションソフトの確認

[スタート]→[プログラム]内に、下記のアプリケーションソフトがあることを確認してください。

- **[Mediamatics DVDExpress]→[Mediamatics DVD Player]**
- **[MPEG Creator]→[MPEG Creator]**
  →[MPEG Creatorのアンインストール]



表示がない → 再度10ページ【1. インストール】を行います。

Mediamatics DVDExpressの詳細については、ヘルプをご覧ください。

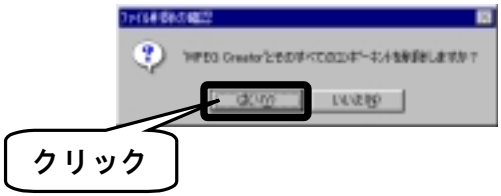


※Mediamatics DVDExpressはサービス品の為、サポート対象外です。

インストールした情報を全て削除し、本製品を組み込む前の状態にします。

1 **[スタート]→[プログラム]→[MPEG Creator]→[MPEG Creatorのアンインストール]をクリックします。**

2 **[はい]ボタンをクリックし、メッセージに従って進みます。**



第3章

実際に使ってみて、MPEG Creatorに馴れましょう。
各設定箇所の詳細については、必要に応じて【第4章 リファレンス】を参照してください。

28ページ
MPEG Creatorの操作方法です。

32ページ
録画します。

37ページ
静止画を保存(キャプチャ)します。

40ページ
録音します。

46ページ
サムネイルの表示位置、名前等を変更します。

50ページ
再生します。

52ページ
テレビで再生します。

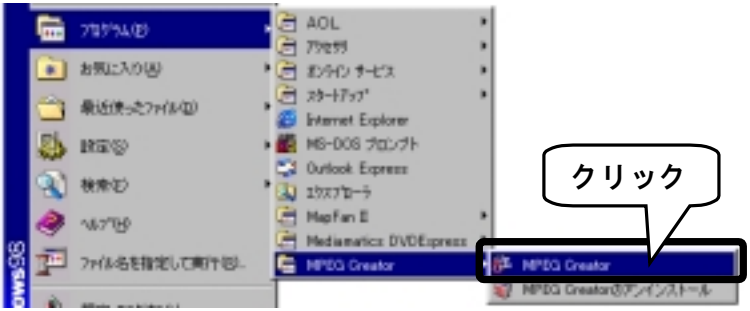
55ページ
録画した映像を編集します。

MPEG Creatorは、本製品を活用する上で最も重要なアプリケーションソフトです。
ここでは、MPEG Creatorの基本操作を説明します。

MPEG Creatorをご使用の際（起動する際）は、必ずすべての常駐ソフトを終了させてください。

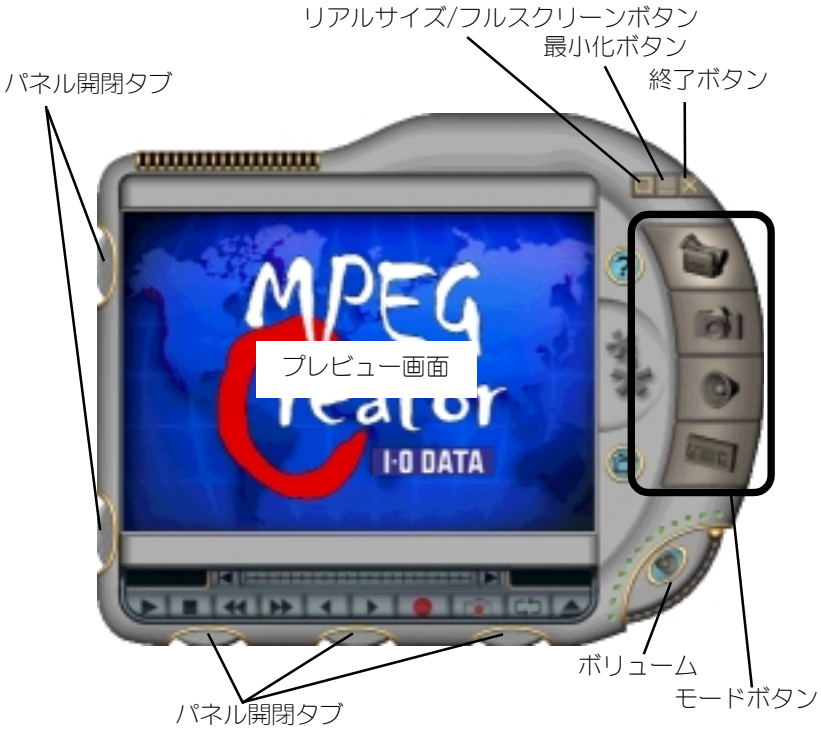
MPEG Creatorの起動と終了

1 **[スタート]→[プログラム]→[MPEG Creator]→[MPEG Creator]をクリックします。**



2 初期画面が表示されます。

各ボタン等の機能については、72ページ【1. メイン画面】をご覧ください。



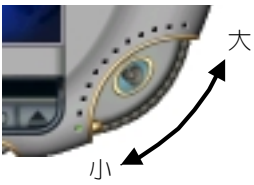
3 終了ボタンをクリックすると、終了します。

パネルの開閉

MPEG Creatorには5つのパネルがあります。各パネルを開閉するには、パネル開閉タブをクリックします。

ボリューム

ドラッグしてボリュームを調整します。中央のスピーカーアイコンをクリックすると消音（×マークが表示される）します。



MPEG Creator起動直後は操作できません。モードボタンでモードを設定するか、編集作業を始めると、操作できるようになります。

リアルサイズ/フルスクリーンボタン

再生時、及びビデオモード時に、パソコン画面全体に表示するか、プレビュー画面内に表示するかを切り替えます。
MPEG-1再生時と、MPEG-2再生時とで、多少動作が異なります。

	1回目クリック	2回目クリック	3回目クリック
MPEG-1再生時	フルスクリーン	プレビュー画面	
MPEG-2再生時	リアルサイズ	フルスクリーン	プレビュー画面

※MPEG-1再生時は、リアルサイズ表示はできません。

フルスクリーン：パソコン画面全体に表示します。
プレビュー画面：MPEG Creatorのプレビュー画面に表示します。
リアルサイズ　：720×480で表示します。

▼リアルサイズ表示



お手持ちのビデオデッキやカメラ（NTSC信号を出力するビデオ機器）の映像をハードディスクに録画します。
本製品では、様々な形式や方法で録画ができます。まずは適当な映像を用意し、下記の手順で何度か録画の練習をしてみてください。うまくできたら目的の映像を録画してみてください。

1 **［スタート］→［プログラム］→［MPEG Creator］→［MPEG Creator］を起動します。**

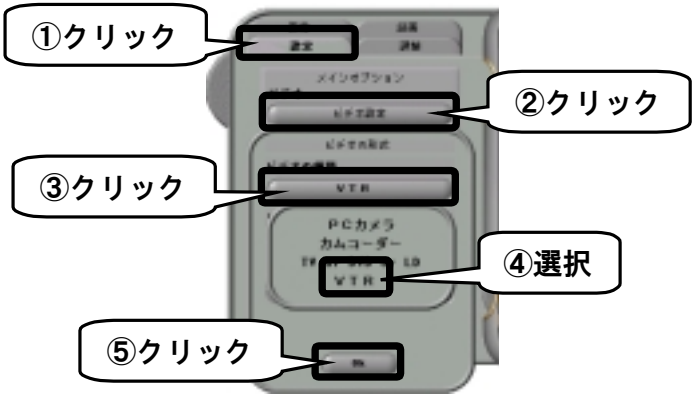
MPEG Creatorのメイン画面が表示されます。

2 **左上の［オプション］タブをクリックします。**



3 **[設定]タブ→[ビデオ設定]ボタン→［ビデオの種類］で[VTR]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

ここでの設定に関する詳細については78ページをご覧ください。



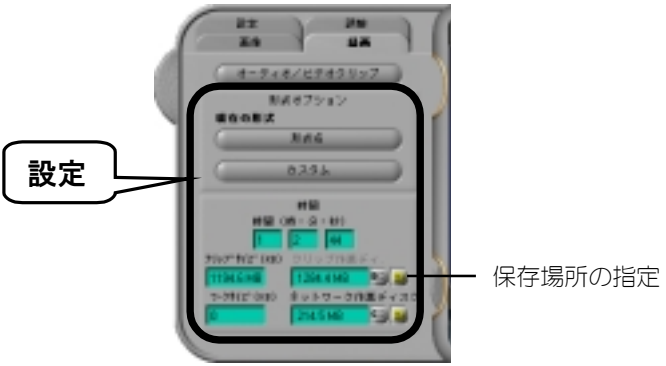
4 **［録画］タブをクリック後、一番上のボタンをクリックし、表示されるメニューで[オーディオ/ビデオクリップ]を選択します。**



5 [現在の形式]、[時間]を設定します。

録画時間や、録画形式、音声の録音形式、動画ファイルの保存場所などに関する詳しい設定は、すべてここで行います。

設定に関する詳細については84ページをご覧ください。



・DVD用の動画ファイルを作成したい場合

DVD-Rドライブをお持ちで、本製品でDVD作成用の動画ファイルを作成しようとお考えの場合は、手順5 の[現在の形式]では、[DVD（MPEG-2）]か[DVD（MPEG-1）]を選択してください。（84ページ参照）

・ビデオCD用の動画ファイルを作成したい場合

CD-R(RW）ドライブをお持ちで、本製品でビデオCD作成用の動画ファイルを作成しようとお考えの場合は、手順5 の[現在の形式]では、[ビデオ CD]を選択してください。（84ページ参照）

6 接続しているビデオ機器を再生状態にします。

7 ［ビデオモード］ボタンをクリックします。

プレビュー画面に映像が表示されます。

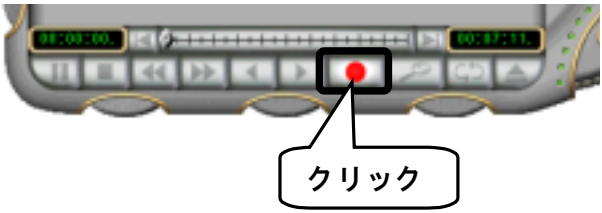


プレビューが表示されない 107ページ

市販、及びレンタルビデオやDVDなど、不正コピー防止用のコピーガードのかかった映像ソフトは録画できません。

8 ［録画/録音］ボタンをクリックします。

録画を開始します。



9 録画を停止したいところで［停止］ボタンをクリックします。

5 で録画時間を設定している場合は、設定した録画時間で自動的に停止します。



以上で録画は完了です。

作成された動画ファイルは[メディアマネージャ]タブの[メディア]タブ内にサムネイルとして表示されます。

サムネイルとは・・・
サムネイルとはMPEG Creator内で、各動画、静止画、音声ファイルを視覚的に識別しやすくするためにアイコンで表示したものです。元となるファイルはハードディスク上に保存されており、エクスプローラ等で見ることができます。
保存場所については手順5 での設定によります。
※サムネイルを削除すると、「保存場所」で指定したハードディスク上のファイルも削除されます。



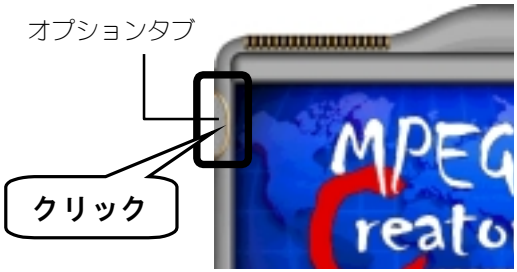
1 **［スタート］→［プログラム］→［MPGE Creator］→［MPEG Creator］を起動し、接続しているビデオ機器を再生状態にします。**

MPEG Creatorのメイン画面が表示されます。

2 **［スナップショットモード］ボタンをクリックします。**



3 左上の［オプション］タブをクリックします。



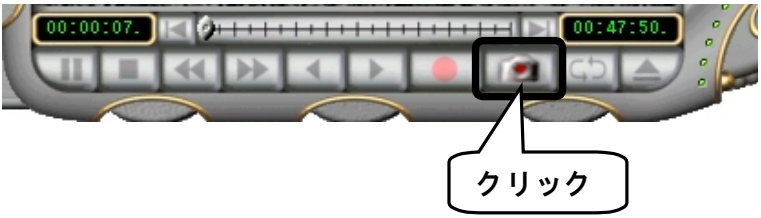
4 ［画像］タブをクリックし、[形式オプション]、[保存オプション]を設定します。

［画像］タブ内での設定に関する詳細については81ページ【画像タブ】をご覧ください。



5 ［画像作成］ボタンをクリックします。

静止画が保存されます。



保存した静止画ファイルは[メディアマネージャ]タブのワークスペースアルバムにサムネイルとして表示されます。
50ページ【6. 再生する】の手順で表示できます。

本製品に入力されている音声を録音します。録音した音声は、BGM等に使用できます。
動画編集時のナレーション用等のために音声を録音する場合は44ページ【マイクでナレーションを加える】の方法で録音することをおすすめします。

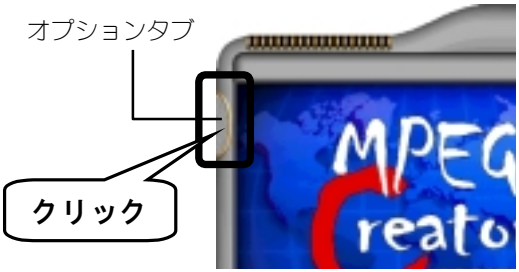
1 **［スタート］→［プログラム］→［MPEG Creator］→［MPEG Creator］を起動します。**

MPEG Creatorのメイン画面が表示されます。

2 **［オーディオモード］ボタンをクリックします。**



3 **左上の［オプション］タブをクリックします。**



4 **［録画］タブをクリック後、一番上のボタンをクリックし、表示されるメニューで[オーディオクリップ]を選択します。**



5 [現在の形式]、[時間]を設定します。

録音時間や、録音形式、音声ファイルの保存場所などに関する詳しい設定は、すべてここで行います。

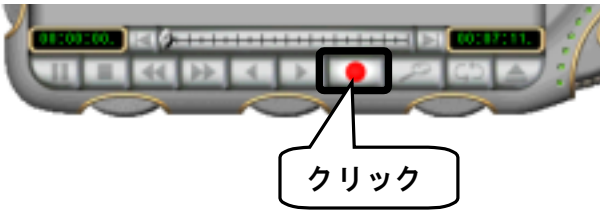
設定に関する詳細については87ページをご覧ください。



6 接続している音声機器を再生状態にします。

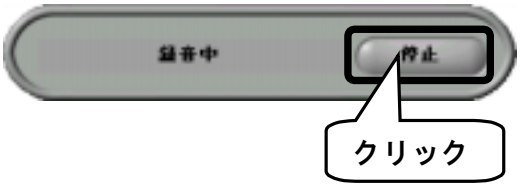
7 [録画/録音]ボタンをクリックします。

録音が開始します。



8 録音を停止したいところで［停止］ボタンをクリックします。

5 で録画時間を設定した場合は、設定した録画時間で自動的に停止します。



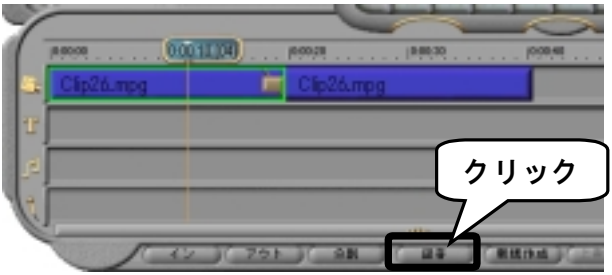
以上で録音は完了です。

作成された音声ファイルは[メディアマネージャ]タブのワークスペースアルバム内にサムネイルとして表示されます。
50ページ【6. 再生する】の手順で再生できます。

マイクでナレーションを加える

動画編集時のナレーション用等のために音声を録音する場合で、音声をマイクで録音したい場合は、あらかじめサウンドボードのマイク入力端子（MIC IN）にマイクを接続しておいてください。
また、この作業は編集作業中に行ってください。（55ページ【8. 編集する】参照）

1 [録音]ボタンをクリックします。



2 [入力デバイス]で[サウンドカード]を、[入力ソース]で[マイク]を選択し、[入力ゲイン]を調節します。



3 **録音の準備ができたら[録音]ボタンをクリックします。**
録音を開始します。



4 **録音を終わりたいところで[停止]ボタンをクリックします。**



5 **[OK]ボタンをクリックします。**



以上で録音は完了です。
作成された音声ファイルはナレーショントラックにクリップとして表示されます。

サムネイル上で右クリックするとメニューを表示します。このメニューで、サムネイルに関するさまざまな操作を行うことができます。
メニュー内のコマンドは、選択されているサムネイルに対して実行されます。
但し、[並べ替え]のみタブ上の全てのサムネイルに対して実行されます。

[メディア]、[プロジェクト]タブ内のサムネイルの場合

[メディアマネージャ]タブの[メディア]タブ、及び[プロジェクト]タブ内には、録画、録音、編集などにより作成されたファイルやプロジェクトが、サムネイル表示されています。
右クリック時のメニュー内の各コマンドについては、次ページをご覧ください。



開く		再生、表示を行います。
プロパティ		サムネイルに関するさまざまな情報（ファイル形式や、ハードディスク上の保存場所等）を表示します。 ※[全般]タブについて ・[タイトル]に名前を入力すると、サムネイルの名前（タイトル）を変更できます。 ・[参照]ボタンで他のファイルと内容を入れ替えることができます。
サムネイル変更		サムネイルの絵を現在プレビュー画面に表示されている静止画に変更します。 変更する場合は、あらかじめ希望の静止画をプレビュー画面に表示させておいてください。
切り取り		切り取ってクリップボードに移動します。
コピー		クリップボードにコピーします。
削除		削除します。 ※ハードディスク上のファイルも削除されます。
貼り付け		クリップボード上のサムネイルを貼り付けます。
並べ替え	マニュアル	サムネイルをドラッグして好きなように並べ替えられます。
	タイトル	サムネイルを名前順に並べ替えます。
	タイプ	サムネイルを種類別に並べ替えます。
	キャプチャ時間	サムネイルをキャプチャ（作成）した時間の順に並べ替えます。

[エフェクト]タブ内のサムネイルの場合

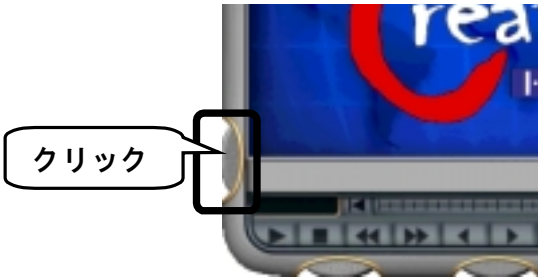
動画ファイルの編集時等に使用するタイトルや、効果のサムネイルは、[エフェクト]タブ内に表示されています。
右クリック時のメニューの内容は、選択中のエフェクト（タイトル、トランジション等）により異なります。



タイトル編集開始	タイトルエディタタブを表示します。 （99ページ参照）
プロパティ	トランジションの設定等を表示、変更します。 トランジションにより内容は異なります。
サムネイル変更	サムネイルの絵を表示ウィンドウに表示されている静止画に変更します。 変更したいものを予め表示ウィンドウに表示させておいてください。
切り取り	切り取ってクリップボードに移動します。
コピー	クリップボードにコピーします。

削除		タブ上から削除します。
貼り付け		クリップボード上のサムネイルを貼り付けます。
並べ替え	マニュアル	サムネイルをドラッグして好きなように並べ替えられます。
	タイトル	サムネイルを名前順に並べ替えます。
	タイプ	サムネイルを種類別に並べ替えます。
	キャプチャ時間	サムネイルをキャプチャ（作成）した時間の順に並べ替えます。

1 ［メディアマネージャ］タブをクリックします。



2 ［メディア］タブをクリックします。

［メディア］タブ内のワークスペースには録画した動画ファイルや静止画ファイルがサムネイルとして表示されています。



3 **［メディア］タブ上の見たい動画ファイルや静止画ファイルのサムネイルをダブルクリックします。**

もしくはサムネイルをビデオウィンドウにドラッグします。

以上で動画ファイルの再生、及び静止画ファイルの表示が始まります。

動画ファイル再生中の操作については、76ページ【パソコン画面上での再生時】をご覧ください。

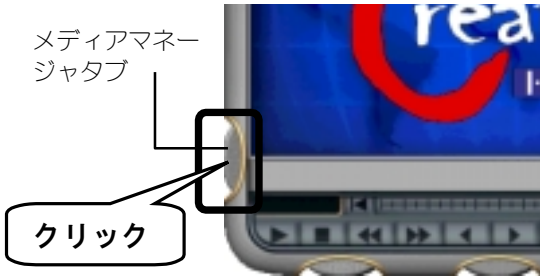
動画ファイルは、パソコン画面上だけではなく、外部接続したテレビなどに出力することもできます。また、ビデオデッキに出力（GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルの、各出力端子をビデオデッキの入力端子に接続して録画状態にします。）すれば、ビデオテープに録画することもできます。

外部出力が可能な動画ファイルは、MPEG Creatorで作成したMPEG-1/2形式の動画ファイルのみです。

1 ［外部再生モード］ボタンをクリックします。



2 **［メディアマネージャ］タブをクリックします。**



3 **［メディア］タブをクリックします。**

［メディア］タブ内のワークスペースアルバムには録画した動画ファイルや静止画ファイルがサムネイルとして表示されています。

4 **ワークスペースアルバム上の見たい動画ファイルのサムネイルをダブルクリックします。**

もしくはサムネイルをビデオウィンドウにドラッグします。

5 ［再生］ボタンをクリックします。



以上で動画ファイルの再生が始まります。

再生中の操作については、75ページ【外部再生モード時】をご覧ください。

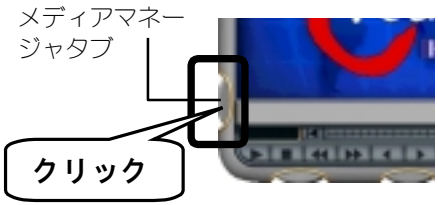
外部出力で再生中は、パソコン画面上では再生されません。
また、コマ送り等の操作はできません。

録画した動画ファイルは、分割したり、余計なシーンを切り取ったり、途中に他のシーンを割り込ませたりすることができます。また、シーンとシーンの切り替わりに特殊な効果（トランジション）を付け加えることもできます。
ここでは、さまざまな編集操作を使った作業例を紹介します。編集操作ごとに説明していますが、必要のない操作は読み飛ばしてください。
また、各編集操作は、一連の流れとして説明していますが、実際はどのような順番で行っても結構です。但し、いずれの場合でも、編集作業の最後には、必ず69ページ【編集がおわったら】を行ってください。

分割

1つのクリップを2つ以上に分割します。

1 ［メディアマネージャ］タブをクリックします。



2 ［ビデオエディタ］タブをクリックします。



3 [メディアマネージャ]タブの[メディア]タブ内にある編集したい動画サムネイルを[ビデオエデイタ]タブ内のビデオトラックにドラッグします。

ドラッグした動画サムネイルはクリップ（バー状の表示）として表示されます。また、[メディア]タブ上の別の動画サムネイルをこのクリップの後にドラッグすれば、さらに追加できます。
ビデオトラックには、静止画サムネイルをドラッグすることもできます。例えば、タイトルシーンを加えたい場合に使います。



4 分割したい場面まで[タイムインジケータ]をドラッグします。

タイムインジケータ



5 クリップをクリックします。

クリックしたクリップは緑色の枠で囲まれ、選択された状態になったことを示します。また、下の[イン]、[アウト]、[分割]の各ボタンが選択できるようになります。



6 [分割]ボタンをクリックします。



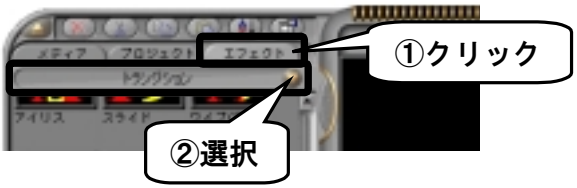
以上で1つのクリップを2つに分割することができました。

分割しても、このままでは以前と特に変わりありませんが、分割した部分にトランジションを加えることにり、分割部分の場面の切り替わりに、おもしろい効果を加えることができます。

次に、このトランジションを加える場合の例を示します。（トランジションはファイルとファイルのつなぎ目にしか加えられません。）

トランジションを加える

7 [エフェクト]タブをクリックし、[トランジション]を選択します。



8 好きなトランジションサムネイルをクリップの分割した部分へドラッグします。



以上でトランジションが追加されました。

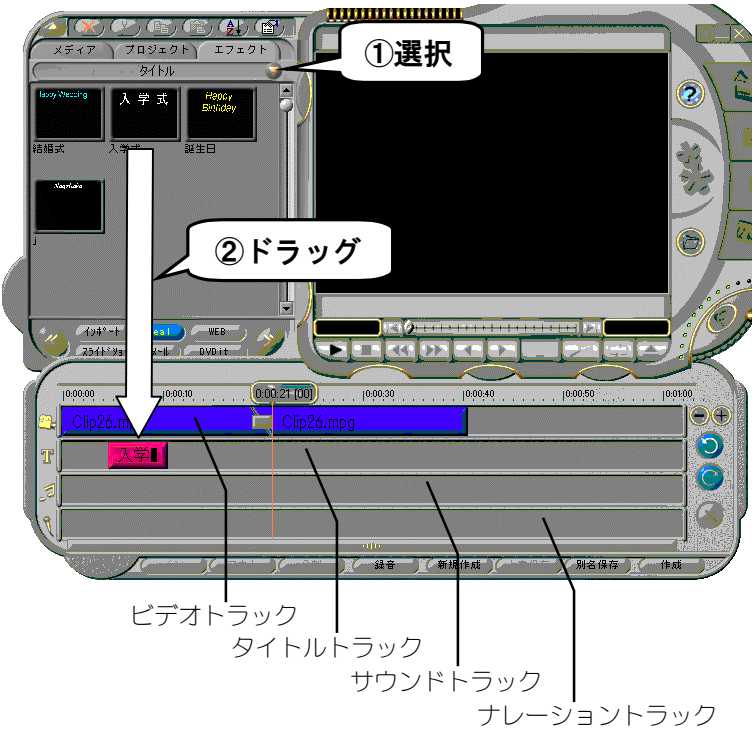
<トランジションサムネイルの選び方>
各トランジションサムネイルは、クリックするとその場ですぐにサンプル再生されます。選択に迷った時は、クリックしてイメージをつかんでください。
ただし、[高速トランジション]ではサンプル再生できません。



タイトル、BGM、ナレーションを加える

9 手順 7で[タイトル]を選択し、好きなタイトルサムネイルをタイトルトラックにドラッグします。

タイトルの作成については、99ページをご覧ください。
ビデオエディタの詳細については、93ページをご覧ください。



同様に、[サウンドトラック]、[ナレーショントラック]に、該当するサムネイルをドラッグします。

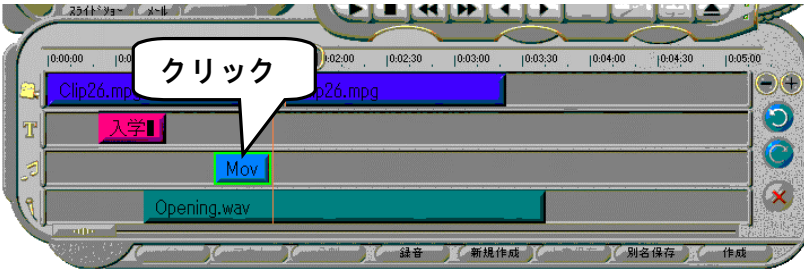
ナレーションはマイクなどで直接加えることもできます。（44ページ【マイクでナレーションを加える】参照）

トラック上の不要なクリップを消すには
不要になったクリップを右クリックし、[選択されたクリップを削除]をクリックします。

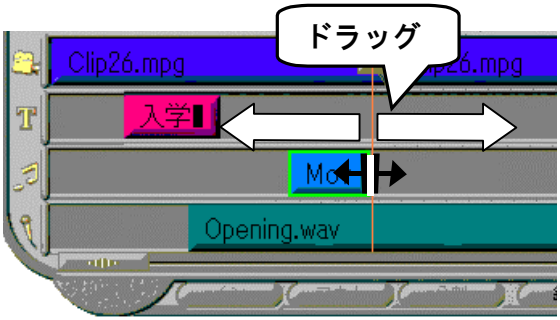
クリップの再生時間を設定する

各クリップの、再生時間を自由に設定できます。

10 再生時間の設定をしたいクリップをクリックします。



11 クリップの最後の部分をポイント（マウスカーソルの形状が変わります。）し、左右にドラッグして再生時間を調整します。



動画クリップ、ナレーションクリップ、BGMクリップは、元の記録時間より再生時間を長く設定することはできません。

BGM、ナレーションの音量を編集する

ビデオトラック、サウンドトラック、及びナレーショントラック上のクリップは音量を編集することができます。例えば、フェードイン、フェードアウトといった効果を加えたい場合に便利です。

12 編集したいクリップが、ビデオトラック、サウンドトラック、及びナレーショントラックの場合は、そのクリップを右クリックし、[音声波形データを作成]をクリックします。

この作業は、ファイルに含まれる音声データをWAVE形式に変換するために行います。変換には時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

WAVEトラックのクリップの場合は、この手順は必要ありません。手順 ***13*** へおすすみください。



13 編集したいクリップを右クリックし、[オーディオボリューム編集]をクリックします。



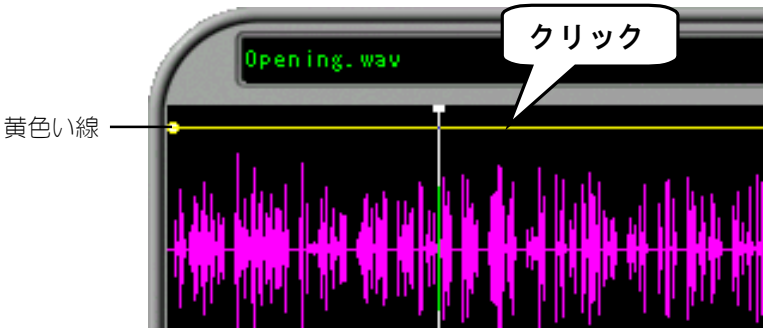
14 [挿入]ボタンをクリックします。

音量の編集が可能な状態になります。



15 黄色い線の上をクリックし、マークをつけます。

黄色い線は、各時点での音量を示しています。
マークはいくつでもつけられます。



16 [削除]ボタンをクリックして、マークをクリックすると、マークは削除されます。

17 [移動]ボタンをクリックします。

マークが移動できる状態になります。



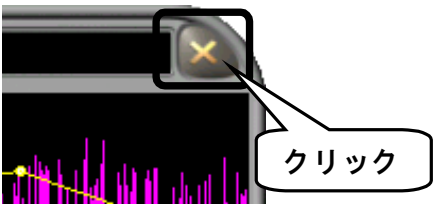
18 マークをドラッグして、各時点の音量を調節します。[リセット]ボタンをクリックすると、黄色い線は初期状態（全ての時点の音量が100の状態）になります。

マークは上下左右にドラッグできます。



19 音量の編集が終わったら、閉じます。

調節内容が保存されます。



クリップの最初と最後のシーンを決める

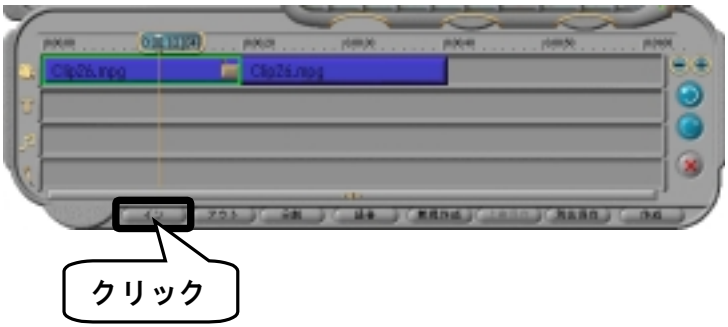
次に、このクリップの開始場面（イン場面）と終了場面（アウト場面）を設定します。

20 タイムインジケータを開始場面にしたいところへ移動します。



21 [イン]をクリックします。

タイムインジケータの位置より前の**場面は全て削除されます。**



22 タイムインジケータを終了場面にしたいところへ移動します。

23 [アウト]をクリックします。

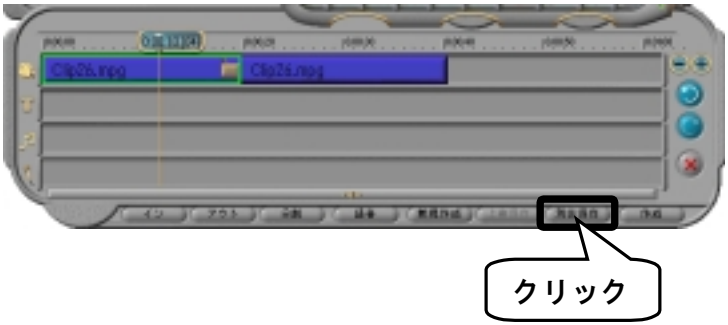
タイムインジケータの位置より後の**場面は全て削除されます。**

以上で動画ファイルの開始場面と終了場面が設定されました。

編集作業を中断したいとき

編集作業を一旦中断し、また後で再開したい場合に、現時点までの作業内容を保存しておくことができます。
保存した作業内容は、[メディアマネージャ]タブの[プロジェクト]タブ内に、プロジェクトサムネイルとして表示されます。

24 [別名保存]ボタンをクリックします。



25 [プロジェクトを別名保存]に、この編集作業に付ける名前を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



≪注意≫
プロジェクトとして保存後、そのプロジェクトで使用しているクリップ（サムネイル）をメディアマネージャ内のワークスペースから削除すると、プロジェクトは開けなくなります。
次ページ【編集がおわったら】を行うまでは、プロジェクトで使用しているサムネイルは削除しないでください。

編集作業を再開

26 [メディアマネージャ]タブ→[プロジェクト]タブ内の、再開したいプロジェクトサムネイルをダブルクリックします。



編集が終わったら

編集作業が終わったら、クリップをまとめます。

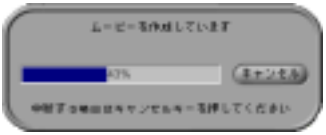
27 [作成]ボタンをクリックします。



28 [作成]ボタンをクリックします。



29 **動画ファイルを作成中です。しばらくお待ちください。中断したい場合は、ここで[キャンセル]ボタンをクリックします。**



作成された動画ファイルは、[メディア]タブ内にサムネイルとして表示されます。

サムネイルに付けられる名前について
サムネイルの下に表示されている名前は、「Item」や、「Clip」といったファイル名がつけられます。さらに、作成された順番に、番号が付けられます。サムネイルの名前を変更したい場合は、46ページ【[メディア]、[プロジェクト]タブ内のサムネイルの場合】をご覧ください。



第4章

この章では、MPEG Creatorの各ボタン、タブ、項目等について説明します。実際に本製品をご使用になりながら、必要に応じてご覧ください。
本章はMPEG Creatorの画面を見ながら参照するとわかりやすいです。


72ページ
起動時の初期画面です。


74ページ
再生時等に使うボタンについて。


77ページ
機能を切り替えるボタンについて。


78ページ
録画、録音時等の詳しい設定ができます。

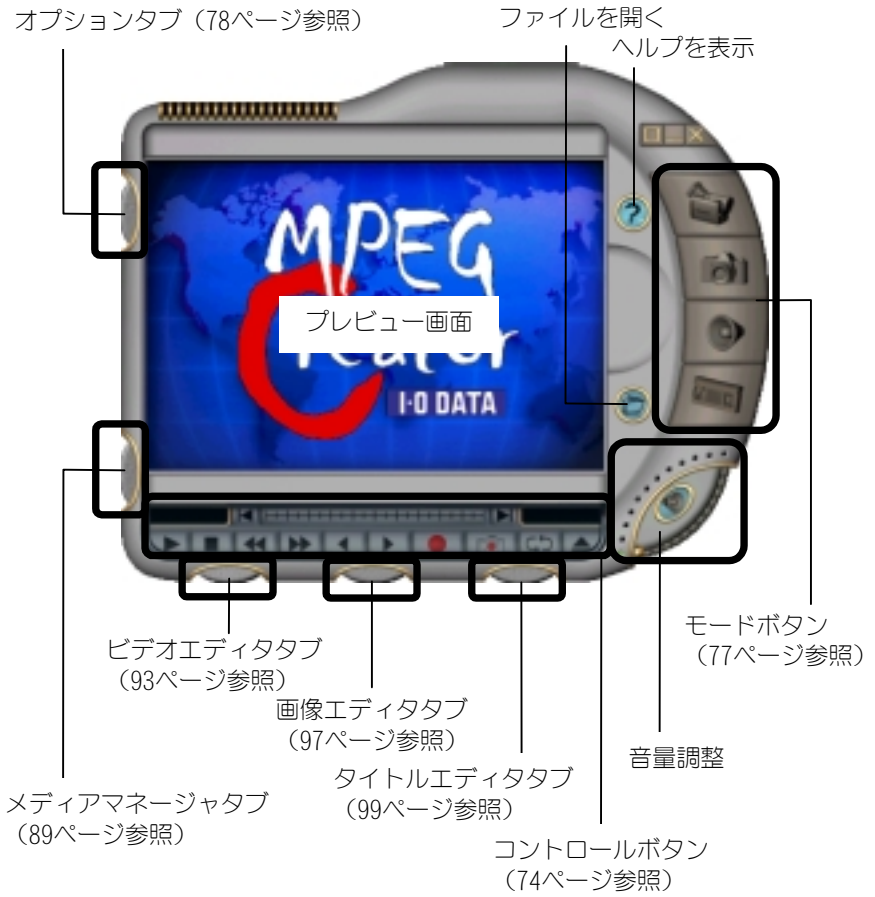

89ページ
作成したファイルがサムネイル形式で保存されています。


93ページ
動画の編集ができます。


97ページ
静止画の編集ができます。


99ページ
動画に加えるタイトル画面等を作成します。

MPEG Creator起動直後の画面です。



リアルサイズ/フルスクリーンボタン
再生時、及びビデオモード時に、記録時のサイズのまま表示するか、パソコン画面全体に表示するか、プレビュー画面内に表示するかを切り替えます。



終了ボタン
MPEG Creatorを終了します。

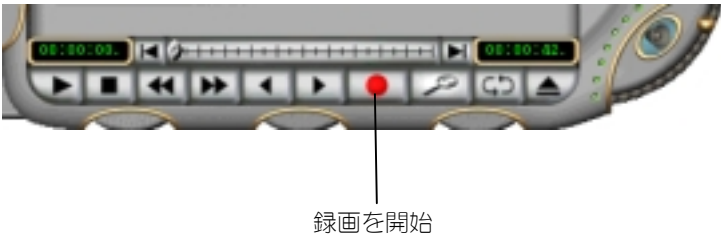
最小化ボタン
MPEG Creatorをタスクバーに入れます。

▼リアルサイズ画面

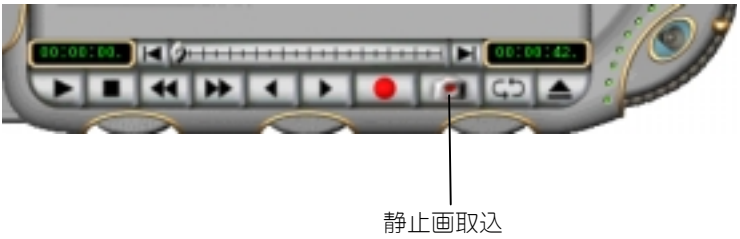


コントロールボタンは、モードやその時の作業によって表示されるボタンの種類や選択できるボタンの種類が異なります。
下記では各モード時別に、各ボタンの説明をしています。
説明のないボタンは選択できないボタンです。

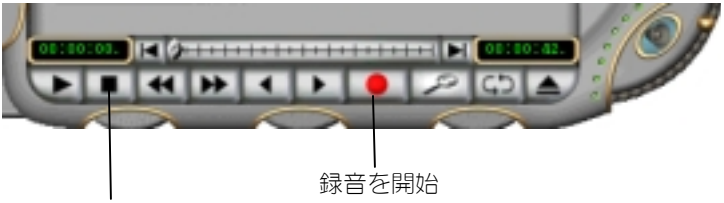
▼ビデオモード時



▼スナップショットモード時



▼オーディオモード時

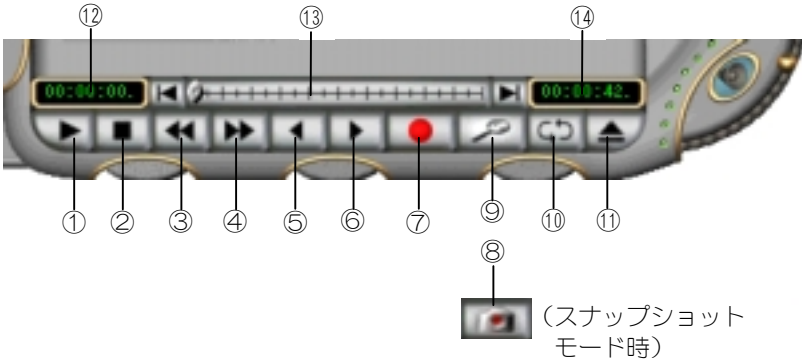


▼外部再生モード時



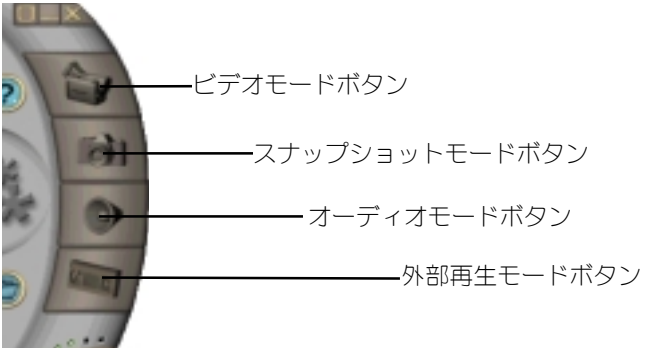
2．コントロールボタン

▼パソコン画面上での再生時



選択項目/調整項目	説明
① 再生	動画の再生を開始します。再生中は一時停止ボタンになります。
② 停止	再生中の動画を停止します。
③ 巻戻し	再生中の動画を戻します。
④ 早送り	再生中の動画を早送りします。
⑤ １コマ戻る	一時停止時に1フレーム戻ります。
⑥ １コマ送る	一時停止時に1フレーム進みます。
⑦ 録画/録音	録画、及び録音を開始します。
⑧ 画像作成	静止画を取込みます。（スナップショットモード時）
⑨ 画像リアルサイズ	静止画像を新たにウィンドウを開いて実際のサイズで表示します。
⑩ 繰り返し	動画の再生を繰り返し行います。 繰り返しに設定時は緑色になります。
⑪ 取り出し	現在のモードを終了し、MPEG Creatorの起動初期の状態にします。
⑫ タイムインジケータ（現在時）	動画再生時に、再生時点の時間を表示します。
⑬ スライダ	動かすと任意のシーンに移動して再生します。
⑭ タイムインジケータ（終了時）	再生中の動画の最終時点の時間を表示します。

ここでは右側面にある4つのボタン（モードボタン）に関する説明をします。
MPEG Creatorを、本製品の主な機能である録画、録音、静止画の保存、外部再生といった各動作をさせるためのモードに切り替えます。



ビデオモード	クリックするとビデオモードになります。 このモードでは、ビデオソースからMPEG-2や、MPEG-1に圧縮された動画ファイルを作成し、ハードディスクに保存することができます。
スナップショットモード	クリックするとスナップショットモードになり、ビデオソースの1シーンをキャプチャーし、静止画として、いろいろなフォーマットでハードディスクに保存することができます。
オーディオモード	クリックするとオーディオモードになり、音声を取り込みます。MPEGオーディオ（.mpa）ファイルあるいは WAVE（.wav）ファイルとしてハードディスクに保存することができます。
外部再生モード	クリックするとテレビやビデオデッキのような外部の装置に、作成した動画ファイルの映像を出力することができます。

ここではオプションタブ内の各ボタンについて説明します。
オプションタブでは、録画や録音に関する詳しい設定を行うことができます。
作成するファイルの形式を詳しく指定したい場合は、録画や録音を開始する前にこのタブ内であらかじめ設定をしておく必要があります。
オプションタブ内には、設定内容別に4つのタブが用意されています。

設定タブ



選択項目/調整項目			説明
ビデオ	ビデオの種類	PCカメラ	CCDカメラ等を接続時に選択します。
		カムコーダー	Hi-8ビデオカメラ等を接続時に選択します。
		TV or DVD or LD	TV、DVD、LD等を接続時に選択します。
		VTR	ビデオデッキ等を接続時に選択します。
	ビデオ入力	コンポジット	映像機器を接続している端子を選択します。
		S-ビデオ	

選択項目/調整項目			説明
ビデオ	ビデオ入力形式	NTSC	NTSCしか選択できません。
オーディオ	ソース		［デバイスライン］しか選択できません。
	ボリューム		スライダで音量を調整します。
	入力ゲイン		音声の録音レベルをスライダで調整します。
	既定値		［オーディオ］内の調整項目全てを既定値に戻します。
言語設定	英語（U.S.）		表示を英語にします。
	日本語		表示を日本語にします。
背景の切替え	オフ		MPEG Creator使用時の背景オフにします。
	オン		MPEG Creator使用時の背景オンにします。

入力ゲインについて
レベルはパーセント(0～100%)で示されます。入力ゲインを低く設定しすぎると音が聞こえなくなります。逆に高すぎると音割れをおこします。
音割れなくサウンドを聞けるように、調節してください。
スライダの右端に向かって、左から半分または１/３位の位置にスライダを合わせてから調節を始めると良いでしょう。

調整タブ



選択項目/調整項目	説明
明るさ	各スライダで調整します。 調整結果はすぐにプレビュー画面の映像に反映されます。
コントラスト	
彩度	
色合い	
シャープネス	本製品では設定できません。
水平取込開始位置	
垂直取込開始位置	
既定値	［調整］タブ内の調整項目全てを既定値にします。

画像タブ

ここでは、静止画キャプチャに関する設定を行います。



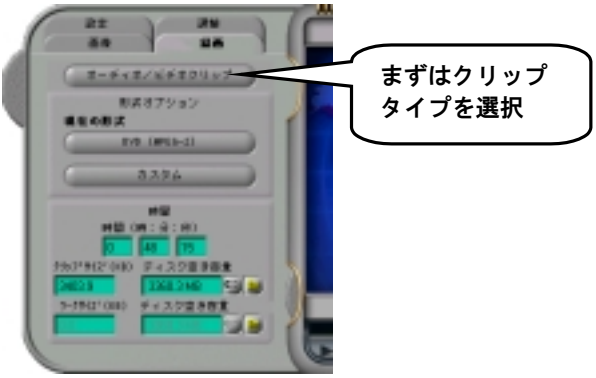
選択項目/調整項目		説明
フレーム	シングル	1シーンのみキャプチャします。
	複数	1シーンのみキャプチャし、指定した枚数を複製します。 ［画像］に複製する枚数を入力します。
	連続撮影	指定した時間間隔をおいて自動的にキャプチャします。 ［画像］にキャプチャする回数を入力し、［遅延］に時間間隔を秒単位で入力します。

4．オプションタブ

選択項目/調整項目		説明
サイズ	160×120	キャプチャ時のサイズを選択します。
	320×240	
	640×480	
	800×600	
	1024×768	
	1280×960	
	1600×1200	
	カスタムサイズ	キャプチャ時のサイズを自由に設定します。
クオリティー	動画	動きのあるビデオの場合は［動画］、動きの少ないビデオの場合は［超高画質］にするといい結果が得られます。
	静止画	
	高画質	
	超高画質	
配色	白黒	画像を表示させるために何色使用するかを設定します。 ※選択中のフォーマットによって設定できない色数があります。
	16色	
	256色	
	HIGH Color（16ビット）	
	True Color（24ビット）	
フォーマット	ビットマップ（*.bmp）	静止画として保存する際にどんな形式で保存するかを選択します。用途に適したフォーマットを選択してください。
	ビットマップRLE（*.bmp）	
	EPS（*.eps）	
	JPEG超高画質（*.jpg）	
	JPEG高画質（*.jpg）	
	JPEG標準画質（*.jpg）	
	Kodak FlashPix JPEG（*.fpx）	
	TIFF（*.tif）	
	PCX（*.pcx）	
	TARGA（*.tga）	
	ウィンドウズメタファイル（*.wmf）	
	PSD Photoshopファイル（*.psd）	

録画タブ

ここでは録画、録音に関する設定を行います。
このタブの設定を行う場合は、まず一番上のボタンでクリップタイプを選択しなくてはなりません。



下記のように2種類のクリップタイプがあります。用途に合わせて選択してください。

オーディオ/ビデオクリップ・・・映像と音声のキャプチャに関する設定を行う際に選択（次ページ参照）
オーディオクリップ・・・・・・・音声のみのキャプチャに関する設定を行う際に選択（87ページ参照）

▼オーディオ/ビデオクリップ選択時

<table>
<tr><th colspan="3">選択項目/調整項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>現在の
形式</td><td colspan="2">DVD（MPEG-2）
MPEG-2（1分=15MB）
MPEG-2（1分=30MB）
MPEG-2（1分=45MB）
MPEG-2（1分=60MB）
SVCD
DVD（MPEG-1）
ビデオ CD
MPEG-1（1分=7.5MB）
MPEG-1（1分=22MB）
MPEG-1（1分=36MB）
WEB 1/4サイズ
ビデオメール</td><td>録画時の保存形式を選択します。
形式によって選択できる画像サイズの種類は異なります。
DVD作成用として動画ファイルを作成する場合は下記のいずれかを選択します。
・[DVD（MPEG-2）]
・[DVD（MPEG-1）]

※[DVD（MPEG-1）]を選択した場合、ファイルは小さくなりますが、DVDの書き込みソフトによっては対応しない場合があります。

ビデオCD作成用として動画ファイルを作成する場合は、[ビデオ CD]を選択します。</td></tr>
<tr><td>カスタム</td><td>テンプレート名</td><td>DVD（MPEG-2）
MPEG-2（1分=15MB）
MPEG-2（1分=30MB）
MPEG-2（1分=45MB）
MPEG-2（1分=60MB）
SVCD
DVD（MPEG-1）
ビデオ CD
MPEG-1（1分=7.5MB）
MPEG-1（1分=22MB）
MPEG-1（1分=36MB）
WEB 1/4サイズ
ビデオメール</td><td>録画時の保存形式を選択します。
またはオリジナルの保存形式の名称を入力します。</td></tr>
</table>

選択項目/調整項目			説明
カスタム	保存		表示中のテンプレート名を保存します。 ※設定の変更内容を有効にする場合は必ずクリックしてください。
	削除		表示中のテンプレート名を削除します。
	画像サイズ		選択できる画像サイズは、選択しているMPEGフォーマット（前ページ[現在の形式]）により異なります。
	MPEGフォーマット	MPEG-1	録画時のMPEGフォーマットを選択します。
		MPEG-2	
	バリアブルビットレート ※MPEG-2フォマットのみ		チェックすると、映像の内容に応じて圧縮率が変化します。（映像によっては、容量が小さくなります。） ただし、画質は常に一定です。
	ビットレート	超低	録画時に使う情報量を設定します。 ビットレートが高いほど品質が良くなりますが、より速い処理速度が必要になります。 各項目によって、スライダで設定できるビットレート範囲が変化します。
		低	
		標準	
		高	
	録画中プレビューしない		録画中ビデオウインドウで録画中の映像を表示しません。
	オーディオの録音		チェックすると音声を録音します。
	オーディオを別のファイルに録音		映像と音声を別々のファイルに作成します。 録画後は、[メディア]タブ内のワークスペースに、音声サムネイルと動画サムネイルの2つのサムネイルが表示されます。
	オーディオフォーマット	Wave	選択できません。
		MPEG	

4．オプションタブ

<table>
<tr><th colspan="3">選択項目/調整項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">カスタム</td><td rowspan="2">オーディオ処理</td><td>リアルタイム</td><td rowspan="4">本製品では設定できません。</td></tr>
<tr><td>ポストプロセス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーディオチャネル</td><td>ステレオ</td></tr>
<tr><td>モノラル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サンプリングレート</td><td>44100</td><td rowspan="2">より大きい方がより良い音質を得られます。</td></tr>
<tr><td>48000</td></tr>
<tr><td rowspan="5">オーディオビットレート</td><td>192000</td><td rowspan="5">より高いビットレートがより良い音質を得られます。
[MPEGフォーマット]で、[MPEG-1]を選択した場合は、64000～384000まで選択できます。</td></tr>
<tr><td>224000</td></tr>
<tr><td>256000</td></tr>
<tr><td>320000</td></tr>
<tr><td>384000</td></tr>
<tr><td colspan="2">データレート</td><td>動画が再生される際に必要なデータのスループット量を表示します。これは参考のために表示されます。
入力することはできません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">時間</td><td>録画する時間を設定したい場合に録画時間を入力（時：分：秒）します。ただし、保存先の空き容量が少ない場合、入力値は自動的に変換されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">クリップサイズ</td><td>作成する動画ファイルのサイズを制限したい場合に入力します。
（上限:4Gバイト）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディスク空き容量</td><td>作成する動画ファイルの保存場所を指定します。
ボックスには指定した場所の空き容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワークサイズ</td><td rowspan="2">本製品では設定できません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディスク空き容量</td></tr>
</table>

≪参考≫
動画ファイルの再生時間（秒） × データレート ＝ 動画ファイルのサイズ
ディスクの残り容量 ÷ データレート ＝ 残された録画時間（秒）

▼オーディオクリップ選択時

<table>
<tr><th colspan="4">選択項目/調整項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>形式名</td><td colspan="3">CD音質（MPEG）</td><td rowspan="4">録音時の音質を選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">FM音質（MPEG）</td></tr>
<tr><td colspan="3">AM音質（MPEG）</td></tr>
<tr><td colspan="3">オーディオCD（Wave）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">カスタム</td><td rowspan="4">テンプレート名</td><td colspan="2">CD音質（MPEG）</td><td rowspan="4">録音時の保存形式を選択します。または、オリジナルの保存形式の名称を入力します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">FM音質（MPEG）</td></tr>
<tr><td colspan="2">AM音質（MPEG）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオCD（Wave）</td></tr>
<tr><td colspan="3">保存</td><td>表示中のテンプレート名を保存します。
※設定の変更内容を有効にする場合は必ずクリックしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">削除</td><td>表示中のテンプレート名を削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーディオフォーマット</td><td colspan="2">Wave</td><td rowspan="2">録音時のフォーマットを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">MPEG</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーディオ処理</td><td colspan="2">リアルタイム</td><td rowspan="4">本製品では設定できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポストプロセス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーディオチャネル</td><td colspan="2">ステレオ</td></tr>
<tr><td colspan="2">モノラル</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">選択項目/調整項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="12">カスタム</td><td rowspan="3">サンプルレート</td><td>44100</td><td rowspan="3">より大きい方がより良い音質を得られます。</td></tr>
<tr><td>48000</td></tr>
<tr><td>32000</td></tr>
<tr><td rowspan="9">オーディオビットレート</td><td>64000</td><td rowspan="9">より高いビットレートがより良い音質を得られます。
[オーディオCD（WAVE）]を選択時はこの項目は設定できません。</td></tr>
<tr><td>96000</td></tr>
<tr><td>112000</td></tr>
<tr><td>128000</td></tr>
<tr><td>160000</td></tr>
<tr><td>192000</td></tr>
<tr><td>224000</td></tr>
<tr><td>256000</td></tr>
<tr><td>320000</td></tr>
<tr><td>384000</td></tr>
<tr><td colspan="2">データレート</td><td>音声が再生される際に必要なデータのスループット量を表示します。これは参考のために表示されます。
入力することはできません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">時間</td><td>録音する時間を設定したい場合に録音時間を入力（時：分：秒）します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">クリップサイズ</td><td>作成する音声ファイルのサイズを制限したい場合に入力します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディスク空き容量
（クリップサイズの右）</td><td>作成する音声ファイルの保存場所を指定ボックスには指定した場所の空き容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワークサイズ</td><td rowspan="2">本製品では設定できません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディスク空き容量
（ワークサイズの右）</td></tr>
</table>

ここではメディアマネージャタブについて説明します。
メディアマネージャタブ内にはさらに3つのタブがあり、それぞれに作成したサムネイルが表示されています。
また、サムネイルを操作するためのボタンや、他のアプリケーションソフトとリンクした使い方ができる便利なボタンが用意されています。



5．メディアマネージャタブ

選択項目		説明
メディア	サンプル	サンプルの動画や静止画のサムネイルが保存されています。 ※添付のGV-MPEG2/PCIサポートソフトを CD-ROMドライブにセットしていないと 再生できません。
	ワークスペース	作成した動画や、静止画のサムネイルが保存されています。 なにも作成していない場合は、一切表示はありません。
プロジェクト	プロジェクト ワークスペース	編集中のプロジェクトサムネイルが保存されています。 プロジェクトサムネイルを選択すると同時にビデオエディタタブも表示され、前回の編集作業の続きができます。 何も編集していない場合は一切表示はありません。
エフェクト	タイトル	動画にタイトルシーンを加える場合などに使うタイトル画面のサムネイルが保存されます。
	トランジション	例えば2つの動画クリップをつなげた場合に、最初の動画と次の動画の切り替わりのシーンに演出効果を加えることができます。ここには、いくつかの効果のサンプルが保存されています。
	トランジション（DirectX）	作成したトランジションが保存されています。 DirectXを利用したトランジションです。
	高速トランジション	高速なトランジションが保存されています。

選択項目	説明
パネルの取り付け/取り外し	クリックすると、メディアマネージャタブをMPEG Creator本体から切り離します。画面上の好きな位置に配置できます。再度クリックすると、元に戻ります。
削除	選択されているサムネイルを削除します。
切り取り	サムネイルを切り取ります。例えば、サムネイルを切り取りの状態でクリップボード上に移動しておくと、他の場所に貼りつけた時点で、元の場所のサムネイルは切り取られます。
コピー	選択されているサムネイルをクリップボードにコピーします。
貼りつけ	クリップボードにあるサムネイルを貼りつけます。
並べ替え	サムネイルが複数ある場合にタイトル順、タイプ順、キャプチャー日時順に並び替えます。並べ替え方法は、サムネイルを右クリックし、表示されるメニューの［並べ替え］の中で選択できます。この中の［マニュアル］を選択すると、並べ替え機能は無効になり、サムネイルをドラッグして好きな場所に移動できるようになります。
アルバムのプロパティ	ハードディスク上の動画の保存場所[ムービーディレクトリ]、静止画の保存場所[ピクチャディレクトリ]が表示されます。
インポート	サムネイル表示されていない動画ファイルをサムネイル表示させるときに使います。例えば、他のアプリケーションソフトで作成した動画ファイルは、MPEG Creatorではサムネイル表示されませんから、これを表示させたい場合に使います。
Real	インターネットの世界では最も一般的な動画データ形式であるRealNetworks™ RealMedia™ フォーマットに変換します。変換した動画はReal Playerで再生することができます。（本製品にReal Playerは添付されていません。）
WEB	自作のWEBページに動画、静止画、音声を貼り付ける場合に使います。貼りつけたい動画、静止画、音声のサムネイルを選択した状態でクリックします。
前のアイテム 次のアイテム	選択したサムネイルの前、次のサムネイルを再生します。

5．メディアマネージャタブ

選択項目	説明
パネルの拡大/縮小	ドラッグすることにより、メディアマネージャタブの大きさを変更することができます。
スライドショー	サムネイルの選択されたものを順番にフルスクリーンで表示します。
メール	サムネイルを選択した状態でクリックすると電子メールアプリケーションが起動し、サムネイル（動画/画像/音声）を添付した状態で電子メールが送信できます。
DVDit	DVDit!を起動します。（DVDit!ヘルプ参照）

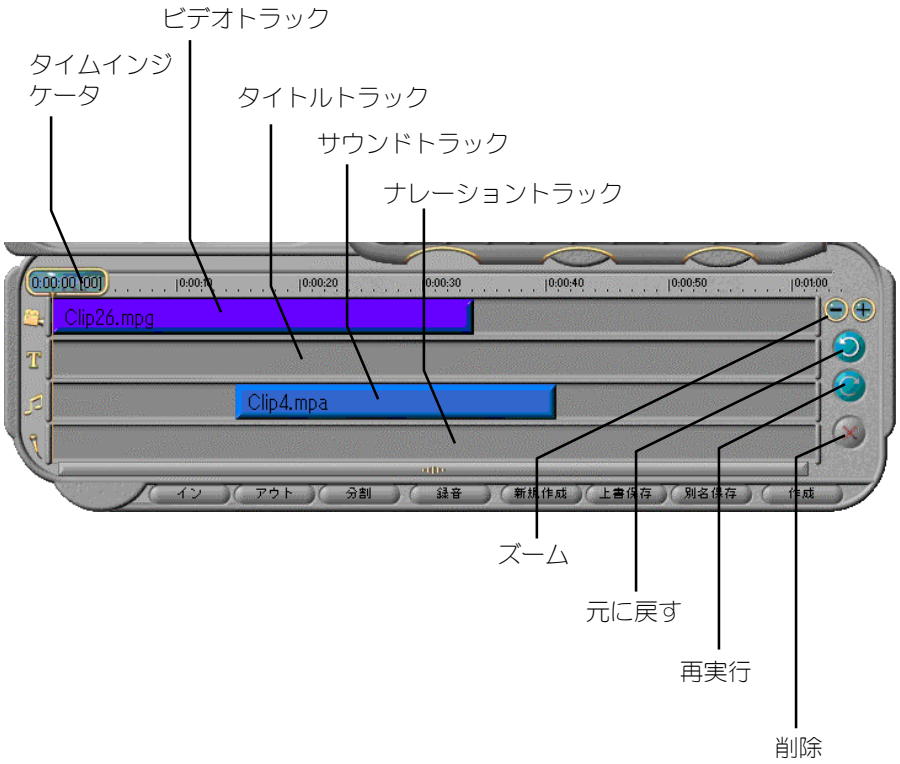
アルバムの編集メニュー

メディアタブ、及びプロジェクトタブは、右クリックすると、アルバムを編集するためのメニューが表示されます。



選択項目	説明
新しいアルバム	1つのアルバムにサムネイルが多くなった場合などに、新しいアルバムを別途作成します。[新しいアルバム]に名前を入力して[OK]ボタンをクリックします。
アルバムの削除	選択中のアルバムを削除します。
アルバムの名前変更	選択中のアルバムの名前を変更します。
アルバム選択ボタン	アルバムを選択します。

ここではビデオエディタタブについて説明します。
ビデオエディタタブでは、動画の編集作業を行います。



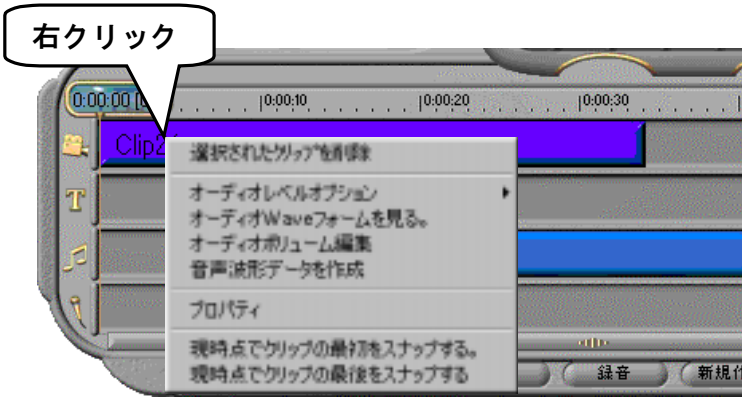
6．ビデオエディタタブ

選択項目		説明
タイムインジケータ		動画の編集作業時に、編集する具体的な場所（シーン）を指定します。 左右にドラッグできます。
ビデオトラック		編集作業に使うビデオクリップをドラッグします。
タイトルトラック		編集作業に使うタイトルクリップをドラッグします。
サウンドトラック		編集作業に使うサウンドクリップをドラッグします。
ナレーショントラック		[録音]ボタンで直接音声を加えることができます。サウンドクリップをドラッグすることもできます。
ズーム	イン	クリップ表示を拡大します。
	アウト	クリップ表示を縮小します。
元に戻す		直前に行った操作を取り消し、元の状態に戻します。
再実行		直前に行った動作を再度行います。
削除		選択されているクリップを削除します。
イン		タイムインジケータの示す場面を動画のスタート場面にします。 タイムインジケータが示している場面より前の場面は削除されます。
アウト		タイムインジケータの示す場面を動画の終了場面にします。 タイムインジケータが示している場面より後の場面は削除されます。
分割		タイムインジケータが示す場面で分割します。 分割された部分には、他の動画やトランジションを割り込ませることができます。
録音		タイムインジケータが示す場面からナレーションの録音を開始し、ナレーションクリップをナレーショントラックに加えます。

選択項目	説明
新規作成	新しい編集作業（プロジェクト）を始めます。
上書保存	その時点でのプロジェクトを保存します。
別名保存	プロジェクトに名前を付けて保存します。
作成	ひとつの動画ファイルにします。 編集中は仮のムービー（動画）として再生されています。

クリップの編集メニュー

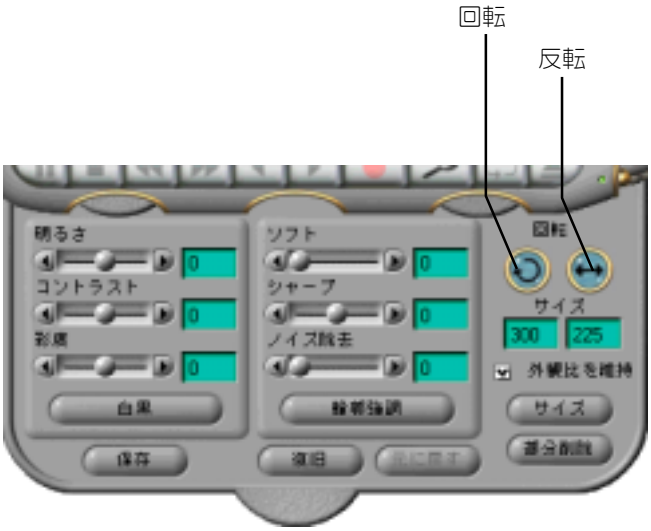
トラック上に配置したクリップは、右クリックすると、クリップの削除や、音量等に関する設定を行うためのメニューを表示します。



6．ビデオエディタタブ

選択項目		説明
選択されたクリップを削除		クリップを削除します。
オーディオレベルオプション	ミュート/ミュート終了	消音と消音の解除を切り替えます。
	ボリューム設定	スライダで、クリップ全体の音量を設定します。（設定範囲：0～100%）
オーディオWAVEフォームを見る		クリップ上に音声波形を表示します。
オーディオWAVEフォームを隠す		クリップ上の音声波形表示を消して通常のクリップ表示にします。
オーディオボリューム編集		クリップ内の任意の時点の音量を自由に設定するためのメニューを表示します。
音声波形データを作成		ファイルに含まれる音声データをWAVE形式に変換します。
プロパティ		音声の形式等を表示します。
現時点でクリップの最初をスナップする		選択中のクリップの最初を、タイムインジケータが指し示している所に移動します。
現時点でクリップの最後をスナップする		選択中のクリップの最後を、タイムインジケータが指し示している所に移動します。

ここでは画像エディタタブについて説明します。
スチールイメージエディタタブでは、静止画のカラー補正や簡単な編集などが行えます。このタブの機能を利用する場合は、あらかじめ[メディア]タブ内の編集したい静止画サムネイルをビデオウィンドウへドラッグしておいてください。



選択項目		説明
明るさ		明るさを設定します。（設定範囲：-100～100）
コントラスト		コントラストを設定します。 （設定範囲：-100～100）
彩度		カラーレベルを設定します。 （設定範囲：-100～100）
白黒		色情報を全て削除し、グレースケールの画像にします。
ソフト		輪郭をソフトにします。あまり値を上げすぎるとぼやけた感じになります。（設定範囲：0～9）
シャープ		輪郭をはっきりとした画像にします。 （設定範囲：-100～100）
ノイズ除去		画像に含まれているビデオノイズを除去します。 （設定範囲：0～9）
輪郭強調		画像の輪郭を強調します。
回転	回転	時計回りで90度回転します。
	反転	水平に180度反転します。
サイズ（入力ボックス）		幅と高さを入力するとサイズの変更ができます。
外観比を維持		幅、高さのどちらか一方を入力すると、 「元の幅：元の高さ」の比を保ったままサイズを変更します。
サイズ（ボタン）		入力ボックスの[サイズ]、[外観比を維持]の設定を実行します。
部分削除		マウスで選択範囲された部分以外を削除します。
保存	上書き保存	上書き保存します。
	名前をつけて	新たな名前をつけて別のファイルとして保存します。
	保存しない	保存しません。
	キャンセル	保存作業をキャンセルします。（上と同じ）
復旧		一切の編集操作を取り消し、元の画像に戻します。
再実行/元に戻す		クリックするたびに、直前の操作の取り消しと、再実行を繰り返します。

ここではタイトルエディタタブについて説明します。
タイトルエディタタブでは、動画に加えるタイトルを作成できます。
作成したタイトルを保存すると、[エフェクト]タブの[タイトル]に、サムネイルとして表示されます。



8．タイトルエディタタブ

選択項目		説明
フォント		タイトルテキストのフォントサイズ、フォントスタイル（書体）、色などのエフェクトを設定できます。
配列		左揃え、中央揃え、あるいは右揃えに配置できます。
スクロール方向	上から下	タイトルの表示方法（スクロール方法）を選択します。
	下から上	
	右から左	
	左から右	
	スクロールなし	スクロールしません。
ビットマップを作成		静止画をメディアタブのアルバム内に保存します。
新規作成		タイトルの作成を開始します。
保存		作成したタイトルを保存します。
別名保存		作成したタイトルにタイトル名を付けて保存します。[新しいタイトル名]に新しいタイトル名を入力します。

ふろく

102ページ

異常があった場合にご覧ください。

108ページ

109ページ

動作が不安定になる。

電源容量が不足している可能性があります。

パソコン本体の取扱説明書と拡張ボードの取扱説明書をご覧になり、最大供給電流を越えていないかどうかをご確認ください。
最大供給電流を消費電流が超えている場合は、他の拡張ボードを外すなどして、電源容量を確保してください。

一旦電源を切り、本製品を他のPCIバススロットに取り付けてください。

ドライバをインストール後、Windows再起動中動作が停止する。

－

一旦電源を切り、本製品を他のPCIバススロットに取り付けてください。

[デバイスマネージャ]内に［GV-MPEG2/PCI］の表示がない。

ハード的に認識されていない。

[GV-MPEG2/PCI]の表示は、[サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ]をダブルクリックしないと表示されません。再度ご確認ください。どうしても表示されない場合は、一旦電源を切り、GV-MPEG2/PCIを取り外し再び取り付けをやり直してください。

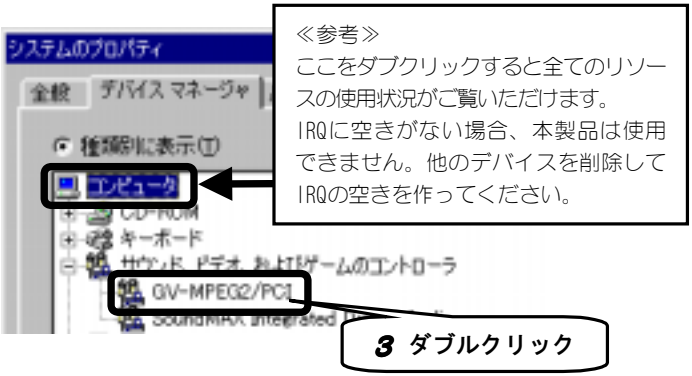
一旦電源を切り、本製品を他のPCIバススロットに取り付けてください。

[デバイスマネージャ]内の［GV-MPEG2/PCI］に!マークがついている。

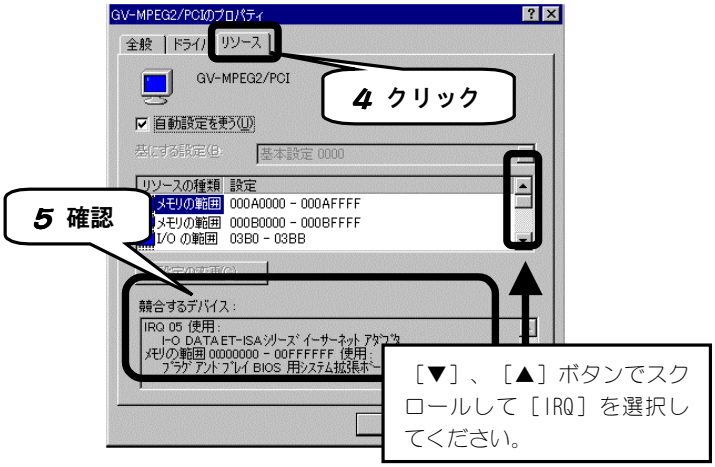
リソースが他の周辺機器と競合しています。（GV-MPEG2/PCIのリソースはPnPシステムによる自動設定のため、変更できません。）

以下のように対処してください。

1. ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］で［システム］アイコンをダブルクリックし、［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
2. ［サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ］をダブルクリックします。
3. ［GV-MPEG2/PCI］をダブルクリックします。

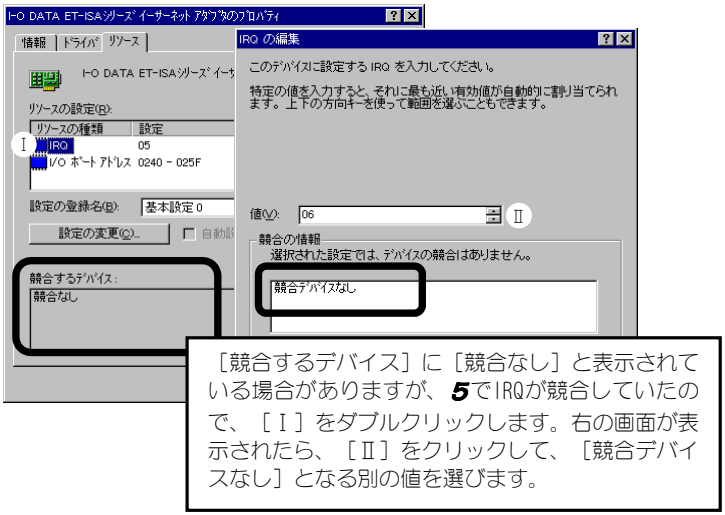


4. ［リソース］タブをクリックします。
5. ［競合するデバイス］欄に表示されている競合リソースと、競合デバイスを確認します。



6 競合している他のデバイスのリソースを、**1**～**4**と同じ手順で表示させます。

7 以下のようにリソースを変更します。



8 [OK]ボタンを数回クリックして［システムのプロパティ］画面を終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックして、Windowsを終了します。（パソコンの電源をOFFにします。）

9 デバイスによっては、Windows上でリソースを変更した際に、デバイスのディップスイッチや、ジャンパスイッチ等も変更しなくてはならない場合があります。（詳細は、リソースを変更したデバイスの取扱説明書を参照してください。）

音がきこえない。もしくは録音されていない。

サウンドボードが組み込まれていない。
GV-MPEG2/PCIで音声の再生や、録音を行う場合、別途サウンドボードが必要です。また、サウンドボードの音声出力部にスピーカーが接続されているか、確認してください。
サウンドボードの設定が正しくない。
サウンドボードの接続、ドライバの組み込み等がただしいかご確認ください。詳細についてはサウンドボードの取扱説明書をご覧ください。
ボリュームが最小になっている。
MPEG Creatorメイン画面の右下にボリュームダイアルがあります。音量を上げてみてください。
ケーブルの接続が不適切。もしくは間違っている。
音声は、付属のGV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルの長いケーブルのうち赤、及び白の端子に入力されるように接続してください。 また、GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルが、GV-MPEG2/PCIのマルチポートにしっかりと接続されているか、確認してください。

ミュートの設定になっている。

ミュートを外してください。

録画したものを再生すると、音声と映像がずれて再生される。

録画したファイルを保存しているハードディスクがIDEタイプのものの場合、DMA転送が有効になっていない。

DMA転送を有効にしてください。

<方法>

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をダブルクリック→[デバイスマネージャ]タブを開きます。
2. [ディスクドライブ]をダブルクリックし、録画したファイルを保存しているハードディスクの表示をダブルクリックします。
3. [設定]タブを開き、[DMA]にチェックを付けます。

プレビュー時に音声と映像がずれて表示される。

―

プレビュー時は、パソコンの機能をフルに使用しますので、正しい再生ができない場合があります。
録画したファイルは正常に作成されています。

編集後、[作成]を行ったが、なかなか終了しない。

―

編集作業では、パソコン内で非常にたくさんの処理を行う必要がありますので、時間がかかります。（MPEG-2ファイルを作成する場合、2分のファイルの編集に約20分かかる場合もあります。）

プレビューが表示されない。

ケーブルの接続が不適切。もしくは間違っている。

映像は、付属のGV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルの長いケーブルのうち黄色、及びS-Videoに入力されるように接続してください。
また、GV-MPEG2/PCI専用マルチケーブルが、GV-MPEG2/PCIのマルチポートにしっかりと接続されているか、確認してください。

録画した動画を再生しても、音声がでない。

入力ゲインが低い。

入力ゲインを上げてください。（78ページ【オプションタブ】参照）

MPEG Creator上で再生可能なMPEG-2ファイルが、MediaPlayer上では再生できない。

CODEC（MPEG-2再生用のソフト）が複数インストールされている。

本製品に添付のアプリケーションソフト以外で、MPEG-2関連のアプリケーションソフト（DVDExpressソフト以外のDVDプレーヤー等）がインストールされているようであれば、それをアンインストールしてください。

MPEG(Moving Picture （Coding） Experts Group)

ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）との合同組織名。
または、動画、音声圧縮技術のこと。動画の動きの方向をデータにすることで圧縮する。

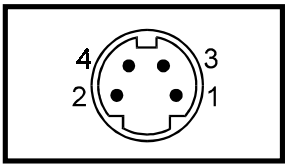
NTSC方式

主に北米や日本で使用されているビデオ信号の形式。走査線の数は、約480本でフレームレートは約30フレーム/秒。他にPAL方式がある。

メモリマッピング	PCIシステムによる自動設定	
割り込み	PCIシステムによる自動設定（1ケ使用）	
コネクタ仕様	入力系	Sビデオ入力　：miniDIN4pin コンポジットビデオ入力　：RCA オーディオ入力　：RCA
	出力系	Sビデオ出力　：miniDIN4pin コンポジットビデオ出力　：RCA オーディオ出力　：RCA
ビデオ入力	コンポジット　：1Vp-p　75Ω S-ビデオ　：（Y）1Vp-p　75Ω （C）0.286Vp-p　75Ω	
ビデオ出力	コンポジット　：1Vp-p　75Ω S-ビデオ　：（Y）1Vp-p　75Ω （C）0.286Vp-p　75Ω	
オーディオ入力	1.8Vrms（MAX）	
オーディオ出力	1.3Vrms（MAX）	
消費電流	+5V　：　2A（MAX） -12V：　0.1A（MAX）	
供給電源	+5V±5% -12V±5%	
動作温度	+5～+40℃	
動作湿度	20～80%	
保存温度	-20～+50℃	
保存湿度	20～90%	
サイズ	152.4×106.68mm（スロットカバー、コネクタ含まず）	
質量	約130g	

※ハードウェアMPEG再生は、外部出力時のみです。

S-VIDEO



端子番	信号名	方向	意味
1	GND	—	
2	GND	—	
3	Y	入力	輝度信号
4	C	入力	色差信号

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して
E-Mail をお送りください。
@nifty　アイ・オー・データステーション(SIODATA)　サポート会議室

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「GV-MPEG2/PCI」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3646
東京　03-3254-1036
受付時間　9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「GV-MPEG2/PCI」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」
@nifty　アイ・オー・データステーション（SIODATA）のライブラリ 6（LIB6）

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-MPEG2/PCI」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送り下さい。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  - ◇ 保証書がない場合
  - ◇ 保証書の所定事項が未記入の場合
  - ◇ 電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  - ◇ 落雷などの事故による破損の場合
  - ◇ 本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-MPEG2/PCI」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「GV-MPEG2/PCI」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。